

江戸川区新庁舎基本設計方針策定業務委託公募型プロポーザル
審査結果報告書

令和3年10月

江戸川区新庁舎建設アドバイザー会議

1 公募の概要

江戸川区では、新庁舎建設工の基本設計方針策定者選定に際し公募型プロポーザル方式による公募を行った。

2 アドバイザリー会議及び審査委員

「江戸川区新庁舎建設アドバイザリー会議設置要綱」により組織された新庁舎建設アドバイザリー会議が、本プロポーザル参加者の中から、第一次審査（書類審査）及び第二次審査（ヒアリング審査）の二段階方式により、本業務に最も適していると認められる者を最優秀者として1者、次点者として1者を選定した。なお、審査は公正かつ厳正なものとするため、第一次審査及び第二次審査共に参加者名は匿名で行った。

新庁舎建設アドバイザリー会議の構成員

区分	氏名	役職
委員長	上山 肇	法政大学大学院政策創造研究科教授
副委員長	佐谷 和江	江戸川総合人生大学江戸川まちづくり学科長
委員	大村 謙二郎	筑波大学名誉教授 (江戸川区都市計画審議会委員)
委員	加藤 孝明	東京大学生産技術研究所 教授 社会科学研究所 特任教授
委員	山崎 誠子	日本大学短期大学部建築・生活デザイン学科准教授
委員	山本 敏彦	副区長
委員	新村 義彦	副区長

3 募集スケジュール

公募開始からの流れは以下のとおりである。

日時	項目
令和3年7月1日(木)	公募開始
令和3年7月29日(木)	質問受付〆切(12時まで)
令和3年8月3日(火)	質問に対する回答
令和3年8月6日(金)	参加表明書、企業実績調書等の提出期限(15時まで)
令和3年8月26日(木)	技術提案書の提出期限(15時まで)
令和3年9月10日(金)	第一次審査結果の通知
令和3年9月14日(火)	第二次審査(ヒアリング)の実施
令和3年10月14日(木)	審査結果の通知
令和3年10月14日(木)	審査結果の公表

4 審査講評

江戸川区新庁舎建設アドバイザー会議からの講評は以下のとおりである。

(1) E社

- ①まちづくりや再開発等の実績、経験を踏まえたうえでの堅実な提案がされており、体制構築やスケジュール管理に安定感がある
- ②江戸川区の特色をよく理解した提案となっており、本事業への理解が深い
- ③基本計画、基本設計方針から基本設計までのロードマップがステップごとによく整理されている
- ④設計において、区民意見の反映実績や市民参加の提案があり、区民との合意形成や区民参加に対して配慮された内容となっている
- ⑤複数案の比較における評価項目が詳細で、最適案への絞り込みのプロセスに説得力がある

(2) F社

- ①複数案の比較検討では、イニシャル・ランニングコストも意識したうえで、詳細に最適案の検討が行われており高く評価できる
- ②震災対策や水害対策についてもハード面まで具体的に検討・提案がされている
再開発ビルのボリュームも考慮したうえで庁舎計画の検討が適切に行われている
- ③プロジェクトチーム体制では、広い視点を取り入れようという姿勢が感じられ評価できる
- ④プレゼンテーションや質疑応答の対応はわかりやすく明快で、相対的に高く評価できる

(3) G社

- ①信頼に足る業務実績、経験が評価できる
- ②庁舎のアイデアは斬新な提案である
- ③水害対策等の防災面や将来変化への対応について、詳細かつ意欲的な提案を行っている
- ④区民への情報提供や合意形成への意識の高さがうかがえる
- ⑤プレゼンテーションと質疑応答を通して、担当者の回答・提案が明快で信頼できる
- ⑥庁舎像の分析における評価プロセスが明解で、説得力がある

5 総評

今回、技術提案書における提案内容とプレゼンテーション、配置予定担当者との質疑応答を通じ、総合的な評価により本業務に最適な事業者を選定した。各社の評価をまとめると以下のとおりである。

E社は、複数案の分析や評価、詳細な事業スケジュールの設定等に説得力があり、評価できるものであった。

F社は、複数案の分析と評価の内容は詳細な内容であり、特に庁舎における環境性能の提案は具体的であった。

G社は、豊富な業務実績と斬新な提案が高く評価でき、プレゼンテーションと質疑応答では明快で信頼に足る印象を受けた。

3社とも業務実績や経験は豊富であり、信頼に足るものであった。さらに庁舎像の分析、評価における能力も審査を通して確認し、3社いずれも本業務を遂行する実力は十分であると判断できるものであった。

【補足意見】

業務にあたっては、女性参画や多様性を含め多角的な視点での検討を求めることとする。

江戸川区新庁舎建設アドバイザー会議
委員長 上山 肇